

更新日: 2011年3月15日午後5:20

日本での事態とオレゴン州での監視: 質疑応答

Q. 日本での放射能放出により、オレゴン州に放射線学的な危険がありますか?

A. いいえ、ありません。私たちは日本から約 5,000 マイル離れた位置にあります。放射線を帯びた空中の微粒子は私たちに一切届かないと予想されています。健康上のリスクが存在するという兆候は今回まったくありません。

Q. 日本の原子力施設で何が起こりましたか?

A. 巨大地震が発生し、日本の原子力施設に損傷を与えました。それに対応して、日本の技術者たちは放射性物質の深刻な放出を防ぐために緊急措置を取っています。現在の時点で、オレゴン州の人々には健康上のリスクは一切ありません。

Q. この事態は、1986年に発生したチェルノブイリ原発での原子炉炉心溶融の事態とどのように異なっていますか?

A. 今回の事態はチェルノブイリで発生した事故とは異なっています。チェルノブイリとは異なり、重大損傷は起こっていません。

Q. オレゴン州の内陸部に住む人々に比べて、沿岸部に住む人々のリスクは高いですか?

A. いいえ。日本で大気中に放出された放射線量は、事故が発生した発電施設付近の人々にとってリスクとなります。今回の放出の規模は、オレゴン州内の人々に対する脅威とはなりません。このため、沿岸部でも内陸部でも、オレゴン州の人々にとって現時点で健康上の懸念はありません。

Q. オレゴン州の当局者は、州内の空気中の放射能濃度を現在モニターしていますか?

A. はい、モニターしています。オレゴン州公衆衛生局および EPA は、過去 25 年間にわたって、放射能濃度を継続的かつ定期的にモニターしています。日本での状況が悪化し、オレゴン州の人々への潜在的リスクに変化があった場合に、公衆衛生局の職員は広報を出します。

Q. ヨウ化カリウムとは何ですか?

A. ヨウ化カリウム(KI)は、ThyroSafe や ThyroShield など、店頭で入手できるヨウ素サプリメントです。ヨウ化カリウムは、放射能放出の付近にいる人々が放射性ヨウ素の身体摂取を防ぐために使用されます。

Q. 放射線曝露から保護するためにヨウ化カリウムを摂る必要がありますか?

A. いいえ、その必要はありません。高レベルの放射性ヨウ素に曝される人々(例えば、大量の放射能放出現場から近い距離に生活する人々)は、甲状腺疾患の長期的なリスクを低減するため、ヨウ化カリウムを摂る必要があるかもしれません。日本での現状に基づいて言えば、オレゴン州の人々がこの薬物を摂る必要は一切ありません。さらに、オレゴン州でヨウ化カリウムが必要になる状況は予想されていません。一部の人々、特にヨウ素へのアレルギーを持つ人々は、この薬品を飲んでではありません。また、腎臓機能の慢性的な問題を抱えている人も、血液カリウムレベルの危険な上昇につながる場合があるため、この薬品の摂取について非常に注意する必要があります。さらにヨウ化カリウムは、推奨量以上を摂取した場合に胎児性甲状腺増殖の影響があるため、妊婦の方は慎重に使用する必要があります。

Q. 現在、個人的に必要な保護措置が何かありますか?

A. いいえ、私たちの現状ではその必要はありません。オレゴン州の人々への潜在的なリスクが変化した場合、地域のオレゴン州職員が適切な予防手順について皆さんにお知らせします。

Q. 詳しい情報を入手するにはどうしたらよいですか?

A. 以下に示す、オレゴン公衆衛生当局のウェブサイトをご覧ください。

<http://public.health.oregon.gov/Preparedness/CurrentHazards/Pages/index.aspx>



www.Twitter.com/OHAOregon

www.facebook.com/OregonHealthAuthority